HONMOKU TIMES

本牧アートプロジェクト2016 10/29より開催！

ディレクター・メッセージ“小さな「できごと」を起こし続ける”
みんなでメリーゴーランドを呼ぼう！
本牧アンバサダー募集中
アーティスト・イン・レジデンス「本牧 AIR」決定
本牧 People インタビュー

Photo by amano studio

honmoku-art.jp

ディレクターメッセージ

Director's Message

小さな「できごと」を起こし続ける

本牧アートプロジェクト2016 ディレクター　石神夏希

4年目を迎えた本牧アートプロジェクト。「えっそんな昔からやってたの？知らなかった」と思った人。いいんです、それで。今日このHONMOKU TIMESを手にとっていただけたなら、あなたも本牧アートプロジェクトの仲間です。

私は2013年から本牧アートプロジェクトに作家として参加し、今年はディレクターとして関わることとなりました。とはいえ昨年の藤原ちからが務めた「プログラム・ディレクター」、つまり演目や作家を選ぶ役とは少し違います。あえて詳しくいえば、アート（プロジェクト）とまちとの関わりを考える「関係性のディレクター」とでも呼ぶのが、ふさわしいかもしれません。

昨年までと大きく変わったのは、特定の数日間で一気にさまざまな作品が上演されるフェスティバル形式をやめ、約3ヶ月にわたり複数のプロジェクトがまちの中で並走していく、いわば「プロジェクト形式」に変えたことです。

とはいえこれまでも、本番に向けたリサーチや準備、関係性づくりは脈々と、半年以上前から走っていました。だから実は何も変わっていません。ただ、意識を変えただけ。アーティストがまちを訪れ、あるいは滞在しながらリサーチや作品制作を行うプロセスそのものを、本牧アートプロジェクトと定義し直しました。

今年は10月～12月という少し長い時間をかけて、まちなかに小さな「できごと」をたくさん起こしていきます。具体的にはアーティストの滞在制作、ワークショップ、トークセッション、作品発表といったイベントを予定しています。でも大切にしたいのは、それぞれのイベントの「あいだ」で何が起きていくか。そして「あなたの中で」何が起きていくか、です。

これまでとは違う目線でまちを再発見したり、まちとの関わり方が変わったり。もしかしたら遠い存在に感じていた「アート」が、人生の一部だと感じるようになるかもしれません。

いしがみ・なつき
1980年東京生まれ。1999年より演劇集団「ペピン結構設計」を中心に劇作家として活動。2002年『東京の米』にて第2回かながわ戯曲賞最優秀賞受賞。近年はテナントビル、住宅、商店街などでのサイト・スペシフィックな演劇上演、横浜、北九州、高松などで地域に根ざしたアートプロジェクトの企画・滞在制作や、建築やまちでの暮らしに関するリサーチ・執筆・企画など、「場所」と「物語」を行き来しながら活動している。『本牧アートプロジェク』には、2013年の第1回から毎年参加。2015年には、街の人たちを主役に据えたギブ・ミー・チョコレート!』を企画・演出。

チャレンジ

Charity

みんなでメリーゴーランドを呼ぼう!

本牧アートプロジェクトの象徴のような存在として毎年まちを彩り、子どもたちを楽しませてきた移動式メリーゴーランド。本牧町1丁目にある「メリ～ゴーランド研究所」が開発したものです。本牧生まれ（!）の馬たちなのですね。
今年は「本牧かぼちゃまつり」の日に三渓園に登場する予定ですが、これまでのように本牧アートプロジェクトが呼ぶのではなく、住民のみなさんのお力で毎年どこかに現れる、そんなふうにしたいのです。「メリーゴーランド、あるといいよね」という皆さんの気持ちを、少しだけ分けて下さい。

本牧アートプロジェクト2013 @本牧山頂公園／写真：森日出夫

メリーゴーランド基金へのご寄付のお願い
目的：本牧地区に移動式メリーゴーランドを設置するための寄付金募集
（2016年度目標額：150,000円）
金額（1口）：個人 1,000円
団体 5,000円 ＊1口以上
振込先：本牧アートプロジェクト実行委員会
ゆうちょ銀行 〇九八支店
普通 0523990
口座記号番号：00230-9-137882
※ご支援いただいた方は、本牧アートプロジェクトの広報媒体『HONMOKU TIMES』及びウェブサイト、当日掲示板等にお名前を掲載いたします。お振込みの際に、氏名・住所・電話番号・口数・金額をお知らせください。E-mail: info@honmoku-art.jp

Information
5th 本牧かぼちゃまつり連動企画
「メリーゴーランドがやってきた！」
日程：10月29日［土］10:00-16:00
＊雨天の場合は30日
場所：三渓園・旧燈明寺本堂前
• 仮装スタンプラリーのスタンプカード（1枚200円）ご掲示で、三渓園の入園料が無料になります。
• 詳細「本牧かぼちゃまつり」のfacebook参照（主催：本牧まちづくり会議、本牧かぼちゃまつり実行委員会）

あつまれ！

本牧アンバサダー募集中

Wanted

本牧アートプロジェクトはアーティストだけのものでもなければ、地域のためだけのものでもありません。「本牧アンバサダー」は地域住民によるプロジェクトチームです。昨年のアートプロジェクトで石神夏希の『ギブ・ミー・チョコレート!』をきっかけに、秘密結社のメンバーが中心になり発足。「大使」や「熱烈ファン」を意味するアンバサダーは、アーティストと地域をつないだり、住民参加プログラムのアイデアを出したり。本牧のために何かをしたい、アートに関心がある、新しいことをしてみたい。ピンと来た方はぜひ、お気軽にご連絡ください。
連絡先 info@honmoku-art.jp

Information
本牧アートプロジェクト2016
日程：10月29日～12月下旬
会場：本牧エリアー帯
＊拠点スペース：HONMOKU ARES-2
（旧マイカル本牧の映画館跡）
プログラム：本牧AIR（10月4日～12月中旬）｜メリーゴーランドがやってきた!（10月29日）｜子ども演劇ワークショップ（11月-12月）｜石神夏希『ギブ・ミー・チョコレート!』（12月10日-11日）｜トークプログラム（12月10日-11日）｜サテライトプログラム（12月予定）
最新情報 ▶ウェブサイトでチェック!

アーティスト・イン・レジデンス「本牧AIR」決定

鶴家一仁　ダンサー・振付家

本牧の町に滞留することで生まれる創造活動を支援し、地域住民との交流を重ねる「本牧AIR」。2015年に引き続き、今年もアーティストが10月から約2ヶ月半、個人宅に居候しながら作品を制作します。鶴家さんは、若干23歳のダンサー。東京やロンドンでダンスを学び、言葉と身体を使いて独自の作品世界を描くフィジカルシアターを目指しています。
まちを歩いたり、いろいろな人に出会ったり。地域外から知らない人がやってくることで、ちょっと緊張する方もいるかもしれません。でも「ヨソモノ」はこれまで見えていなかったものを見せてくれる「不思議なメガネ」のような存在。アーティストと出会った人は、一緒に作品をつくることになるかも？ぜひ心をひらいて、面白がってみて下さい。

つるが・かずひと
1992年生まれ。幼少よりクラシックバレエをはじめ、モーリス・ベジャールの作品に感銘を受け創作を開始。日本大学芸術学部演劇学科在籍中に、2013年から3年間ロンドンの舞踊専門学校Rambert School of Ballet and Contemporary danceに留学。同カンパニーの芸術監督Mark Baldwin等の作品に出演するかたわら、振付家としても活動中。

本牧People

フェンスの向こうから見た本牧【第二話】

Interview

乳井 勇さんインタビュー

上海から引揚げで本牧へ。医療コンサルタントとして長年、世界中を飛び回ってきた乳井勇さんに、本牧で暮らし続ける理由を聞きました。

僕は上海生まれの横浜育ち。おむつして帰ってきたので、一歳ちょっとかな。父親は軍人。母の親が満鉄に勤めていたので、向こうで生まれて帰ってきました。昭和24年か25年だと思います。

――その頃のお住まいは？

中区池袋にある、引揚者のための仮設住宅でした。「かまぼこ兵舎」と呼ばれる、屋根がかまぼこ型の四軒長屋。要するにアメリカ式ですね。いい柱を使うと高いので、曲げた板を何枚も重ねて屋根にして、それにベニヤ板を張ってコールタールを塗って。そういう家に2000年頃まで住んでいました。

――どんな風景が印象に残っていますか？

僕らは、まさに「ギブ・ミー・チョコレート」と言っていましたからね。ハーシーズの板チョコです。ここ（本牧通り）にフェンスがずっとあって、中には芝生が広がって、きれいな家が並んでいて、家族がBBQやっていて。僕らはそれを「美味しそうだな」と眺めていて。

道路にあったのは、ほとんどアメ車。学校の帰りに友だちと「次に来る車はなんだ？」「シボレーだ！」なんて当てっこをしていましたね。負けた方がカバンを持つ（笑）。

（米軍の住宅地の）門には番兵がいて、通してくれないの。だけど、僕らはすばしっこいから、番兵が後ろ向いた隙にぴゅっと入って、中にいるアメリカの子どもたちに”Hey, baseball!”って声をかけてね。高校の時なんか、アメリカ人のお母さんに「あんたうちの子に英語教えてくれない？」って頼まれましたよ。日本人の学生は文法ができるから。

――長年、世界中を飛び回ってきて、今は本牧に落ち着かれていますね。

若い頃はどこでもよかったけど、ある程度の歳になってきて、老後はどこか快適で物価が安くて、人々が優しいところに住みたいと考えるようになりました。最初は南フランスやスペインを考えたけど、ヨーロッパは慇懃無礼。それでやめて、次はアフリカ。ケニアのナイロビは一年中春か秋だし、市街は新宿みたいでスーパーには何でもある。物価は安いし、人々は明るい。でも治安がよくない。次はアジア、タイのチェンマイ。気候はいいし、人々は優しいし、物価は安い。こりゃあいいと思ったら、病院がない。

安全で便利で豊かで自由で清潔…と考えたら、日本が一番。若い頃は国内もあちこち住んだけど、横浜は便利で、気候も悪くないし、災害も多くない。しかも横浜あたりで雨が降ってても、本牧に帰ってくると降っていないのよ。あの（麦田の）山のおかげだね。

だから世界中で一番いいのは本牧だと、なったわけよ。

乳井 勇さん

Sponsors

Honmoku Cake-ya yoko
〒231-0843
横浜市中区本郷町 1-31
Tel :045-624-1014
フリーダイヤル :0120-455014
営業時間 9:00〜20:00 （火曜定休） オリジナルケーキ承ります

本牧葬儀社 本牧ホール
〒231-0806 横浜市中区本牧町2-323
Tel：0120-4580-76
（フリーダイヤルよこはまなむ）
http://www.honmoku.co.jp/
詳しくはWebで！

三渓園
〒231-0824
横浜市中区本牧三之谷58-1
Tel 045-621-0634 （代表）
Fax 045-621-6343
http://www.sankeien.or.jp/
国指定名勝 三渓園 SANKEIEN GARDEN

kuusen
〒231-0849
横浜市中区麦田町2-42
Tel：045-263-6323
http://www.kuusen.net
簡単！ステキに！自分で出来る☆ スタンピングネイルと 可愛い雑貨のお店
クーセン Kuusen

（株）美濃屋あられ製造本舗
〒231-0802 横浜市中区小港町1-6
Tel：045-621-4488
http://www.minoya-arare.com/
横浜 美や 小港 since 1929

イオン本牧3番街 大谷不動産
お宝電話番号 045-621-1234 で答える
不動産仲介 郷土史公開
法律家紹介 路線図贈呈
地元なんでも相談室
室長 大谷 卓雄
横浜人図鑑 大谷卓雄 検索

株式会社エスタディオホールディングス
感動を創造する
総合エンターテイメント企業
estadio HLDGS.
〒231-0013 横浜市中区住吉町 4-45-1 関内トーセイビル6 階
Tel.045-662-1521 （代表） http://www.estadio.jp/

編集後記

4年目を迎えた本牧アートプロジェクトは、アーティストと地域住民の「本牧アンバサダー」双方が手を結んで、新しい段階へと進もうとしています。そこで、「HONMOKU TIMES」もちょっとリニューアル。今号から3ヶ月間限定の月刊となり、初めてのイラスト入り。いつものCoolなイメージが柔らいで楽しげな紙面となり、これから起きていくさまざまな「できごと」を予感させます。次号もご期待ください。

HONMOKU TIMES 04
2016年10月1日発行
アートディレクション：阿部太一／カバー写真：森日出夫／イスラトレーション：松橋 泉
編集・発行：NPO法人Offsite Dance Project
〒231-0834 横浜市中区池袋10-1-202 Tel.090-6346-5820 Fax.045-877-7838 E-mail: info@offsite-dance.jp

本牧アートプロジェクト2016
主催：NPO法人Offsite Dance Project、本牧アートプロジェクト実行委員会
助成：横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト2016、子どもゆめ基金 共催：HOCS（本牧コミュニティ・ステーション）、三渓園
特別協賛：株式会社エスタディオホールディングス 後援：横浜市文化観光局、大鳥中学校コミュニティハウス、本牧中学校コミュニティハウス
協賛：大谷不動産、株式会社美濃屋あられ製造本舗、株式会社本牧葬儀社、Honmoku cake-ya yoko、kuusen
ヨコハマアートサイト
「子どもゆめ基金助成活動」 体験の風をおこそう
estadio
Offsite Dance Project